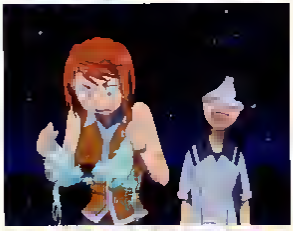
Episode 04

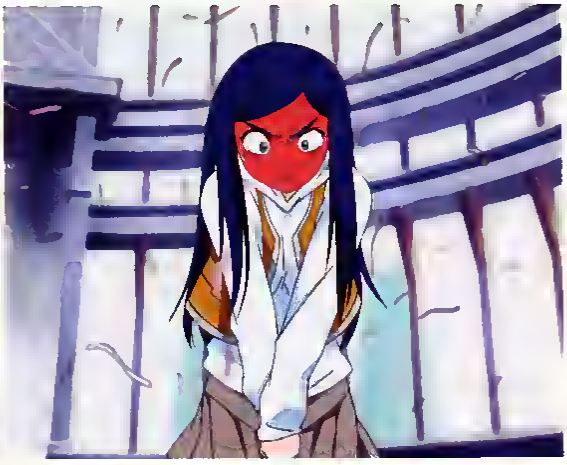
第4話

2004.10.21 On Air

風のイ・タ・ズ・ラ

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：長井龍雪　作画監督：しんぼたくろう／高瀬健一





STORY

風華学園では、女子生徒の下着盗難事件が頻発していた。そんな折、なつきも水泳の授業中に更衣室から下着を盗まれてしまう。下着なしで制服だけを着て、なんとか生徒会室に向かおうとするなつき。だが運悪く、武田将士や舞衣たちと出会う。その時、一陣の風が吹き、なつきのスカートを巻き上げた！　噴き上がる武田の鼻血と、こだまするなつきの悲鳴――。

人生最大の恥辱を味わわされたなつきは、命の証言で下着泥棒がオーファンであることを知り、復讐を決意。自らの下着コレクションをエサに、オーファンをおびき出した。下着を飲み込んで巨大化するオーファン。舞衣・命の協力を得てどうにかオーファンを粉砕したなつき。だが、その結果、大事な下着コレクションは夜空に四散したのだった……。

COMMENT

小原　『舞-HiME』は、演出だけでなく話数構成にも極端な振幅があります、というのを宣言した話です。このあとどう展開するのか読めない、と思わせたかったんです。

吉野　すいません、すごく楽しく書きました。第3話までが比較的カッチリ作られているので、「いや、こーゆーのもあるよ！」というのをここで視聴者に見せておきたかったんです。

第5話 雨…涙…… 2004.10.28 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：鎌倉由実　作画監督：相坂直紀／坂本修司／高野和史

STORY

巧海の心臓移植手術費用を蓄えるためアルバイトに励む舞衣は、ある時、町中ですれ違ったバスにオーフ ァンらしき気配を感じる。気のせいだと自分に言い聞かせて無視した舞衣だったが、翌日、そのバスの事故で担任の沢田が怪我したことを知り、心を痛める。

一方なつきは情報源として利用している教師の迫水から、バスの事故現場に、未知のＨｉＭＥが戦った痕跡が残っていたことを聞く。バス事故は再び繰り返され、現場に駆けつけた舞衣は、なつきから事件を隠蔽する「一番地」という組織の存在を教えられる。

ＨｉＭＥとしての重圧や、巧海の病気を知ったクラスメイトたちとの距離感から、舞衣は祐一の前で感情を爆発させ涙を見せる。普段は喧嘩ばかりの祐一だがそんな舞衣を彼なりの言葉で励ましてやるのだった。

COMMENT

小原 第4話までは、舞衣の強気なところやお姉さん的な部分が強調されていたので、ここで弱さを見せたかったんです。大上段にかまえず、些細な話にしてみました。

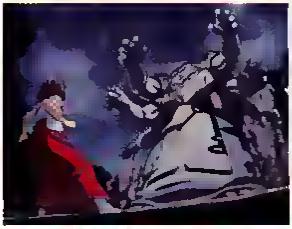
吉野 監督と、「舞衣って、このままじゃあんまり可愛くないよね」「じゃあ、泣かしちゃおうぜ」なんて話してできあがったエピソードです。珍しく、カメラも舞衣にほぼ固定。

Episode 06

第6話 もえる十七歳(^^;)

2004.11.04 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：小野学　作画監督：実原登／大塚健



STORY

舞衣、巧海、命の3人は、封架神社でアルバイトをすることになった。詩帆の祖父が神社の神主で、祐一を通じて結婚式の手伝いを頼まれたのである。バイトの夜、詩帆は祐一への想いを告白し、舞衣は2人の恋を応援する約束をさせられてしまう。

式の当日、舞衣は神社の倉に忍び込んでいたファミレスのバイト仲間・杉浦碧を発見。しかも碧は、うっかり「開かずの扉」に貼ってあったお札をはがしてしまう。扉の奥には謎の壁画と共に、かつて封印されたオーファンが潜んでいた。舞衣は命やなつきと共にオーファンを迎え撃つが、苦戦を強いられる。だがその時、碧が颯爽と登場！　チャイルド「鴉天王」を駆り、一撃でオーファンを打ち破った。しかも翌日、碧は風華学園に教師として赴任してきたのだった。

COMMENT

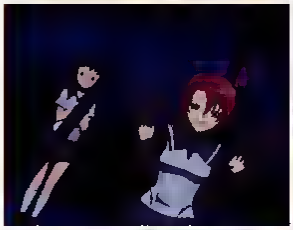
小原　巫女話もすごく需要があるので、踏まえつつ、碧のキャラクターを強く押し出しました。登場から戦闘シーンは、スタッフの「素」なので当然あのようになります。

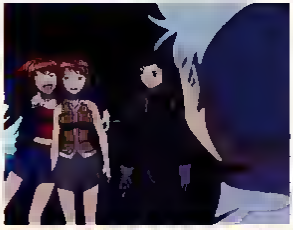
吉野　最初のシナリオでは戦闘シーンを熱く書き込んでしまい、「あ、これでは本当にロボットアニメになってしまう」と思って自主的に削ったのに、本編が上がるとああなってました。

第7話 迷子の仔猫たち

2004.11.11 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：太田雅彦　作画監督：米山浩平





STORY

兄を探して夜の町を徘徊していた命は、同じクラスの結城奈緒を見かける。奈緒はH-MEの力を使って、援助交際目的の男たちを次々と襲っていたのだ。それを目撃した命は、一度は奈緒と対決するが、その後、誤解も解けて協力し合うことを約束。2人は、連れだって夜の町に出るようになる。

一方、命を心配して探しに来た舞衣は、なつきと出会う。やがて2人は、町で男を誘っている命を発見。驚きながらも命のあとをつけ、その背後にいる奈緒と遭遇する。能力を自分のためだけに使う奈緒と対立することになる舞衣たち。さらに碧や凪まで乱入。奈緒は工事中のラブホテルの鉄骨を崩して姿を消した。崩れた瓦礫の中から副会長の神崎黎人に助け出される命。舞衣は意気消沈した命を強く抱きしめるのだった。

COMMENT

小原 HiMEの力の全肯定という考え方が出てきたので、それに対するアンチテーゼとして奈緒を登場させました。彼女は、ダークヒーロー的な存在にしたかったんです。

吉野 奈緒役を南里（侑香）さんにやってもらってすごくよかったな～と思いました。ストーリー的には、舞衣と命の結びつきをより強くするという狙いを含ませて書いた回です。

Episode 08

第8話 たいせつなもの。

2004.11.18 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出：福本潔　絵コンテ：水草一馬　作画監督：竹内浩志／市川敬三

STORY

風華学園の創立祭が始まった。その日、舞衣のバイト仲間の日暮あかねは、ある秘密を恋人の倉内和也に打ち明けようと決意していた。一方、舞衣と巧海は、創立祭の裏方として働く黎人や祐一と共に図書館の地下書庫にいたが、突然その床が抜け、全員が地下迷宮のような洞窟に落下してしまう。地下でオーファンに襲われた巧海を守るため、舞衣は黎人の前で再びカグツチを召喚し、これを撃破する。

その頃あかねは、学園の裏山でオーファンに襲われる深優・グリーアと遭遇。和也の目の前でチャイルドを召喚してオーファンを倒すのだった。だがその直後、深優によってあかねのチャイルドが倒された。と同時に、和也もまたあかねの前で消滅した。そう、HiMEが敗れると「一番大切な人」が消えてしまうのだ。

COMMENT

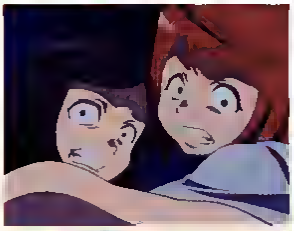
小原 あかねとカズくんが可哀相だとずいぶん言われましたが、キャラクターデザインの久行さんに言わせれば、「この2人は最初から死相が出ている」ということでした。

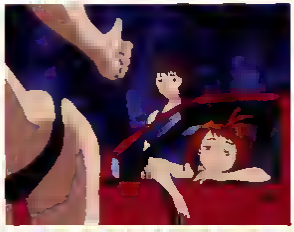
吉野 HiMEの宿命というのを、舞衣たちよりもまず視聴者に知らせておこうと思って、この段階で入れました。とにかく、あかね役の岩男（潤子）さんの絶叫が素晴らしかったです！

第9話 海とオトメとなつきのヒミツ♪

2004.11.25 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：鎌倉由実　作画監督：田中将賀





STORY

突然、姿を消したあかねと和也が、駆け落ちしたらしいという噂を、舞衣は千絵たちから聞かされる。そして試験休み。相変わらずバイトに励む舞衣は、美星海岸の海水浴場で監視員として働いていた。だがそこに、祐一や黎人ら生徒会のメンバーが創立祭の打ち上げにやって来る。舞衣と命は遥の別荘でのパーティーに参加し、共に夜を過ごすことになった。

一方なつきも、母親の死について調査をするため、美星海岸に来ていた。眠れずに散歩していた舞衣は、なつきと行動を共にすることに。命も合流し、3人はかつての一番地の研究施設に潜入するが、警報が作動し不法侵入で捕まってしまう。だが迫水の協力によって脱出に成功。しかしなつきはヒッチハイク中の恥ずかしい姿を碧らに目撃されてしまうのだった。

COMMENT

小原「あ、そういえば水着がないよね」ってことで舞台を海にしました。あと、舞衣と祐一と黎人の関係や、舞衣となつきの関係も、この辺ではっきり見せておきたかったですね。

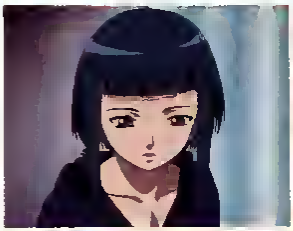
吉野なんといってもアラのシーン！　海岸で群衆がガヤガヤとしゃべっているセリフは、全部アラに関するダジャレになってます。監督の命令でした。死ぬかと思いました。

Episode 10

第10話 ケーキ大戦!!!!

2004.12.02 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：菱川直樹　作画監督：石野聡／大塚健



STORY

夏休みの家庭科の補習を任された碧は、授業を手作りケーキ対決の一大イベントに変更。おかげで舞衣は、深優・詩帆とチームを組んで自分でケーキを作ることに。対する相手は、なつき＋命＋奈緒チームと、静留＋遥＋雪之チーム。一方、学園の男子寮では巧海もルームメイトの尾久崎晶と共にケーキ作りに励んでいた。しかし甘い物好きオーファンが巧海に襲いかかる。そんな巧海の危機を救ったのは、「秘密の忍者」と名乗る晶と、そのチャイルド「ゲンナイ」だった。

学園に出現した別のオーファンを倒した舞衣が部屋に戻ると千絵や巧海たちがパーティーの準備をして待っていた。そう、今日は舞衣の誕生日だったのだ。そして舞衣たちが戦ったオーファン。その背後にはHiMEについて探る教会のグリーア神父がいたのだ。

COMMENT

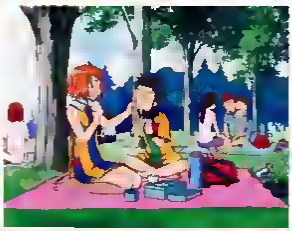
小原 ガマと忍者で「オンキリキリ…」っていうのをリアルタイムで体験してる人は、スタッフの中にはいないはずです。でも、オヤジネタを現代風に処理してみました。

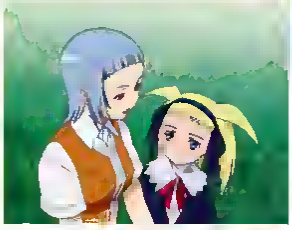
吉野 この回は、登場キャラを無理矢理にでも全部突っ込んで、学校生活の楽しさ…みたいなものを描きたかったんです。あと、舞衣にもたまには幸福を味わわせてあげないと。

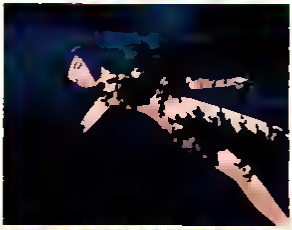
第11話 2004.12.09 On Air

光と闇の輪舞（ロンド）

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出：福本潔　絵コンテ：須永司　作画監督：しんぼたくろう／高瀬健一







STORY

風華学園では、女子生徒が次々と襲われる事件が発生していた。被害者たちは、全員裸にされた上に採血された痕跡があり、吸血鬼の仕業ではないかという噂まで広がり、執行部が事件解決に動きだした。

吸血鬼の正体がオーファンではないかと疑う舞衣は、凪を問いつめる。凪は、HiMEを探し出すために何者かがやっているのではないかと推測。しかも舞衣にその事件に関わらないよう警告するのだった。スッキリしない舞衣は、命を誘って外出し、そこで教会に住むクラスメイトの深優と、天使の歌声を持つ初等部のアリッサ・シアーズと出会う。

その日の夜、舞衣は祐一から呼び出される。舞衣を巡る一連の出来事の真相を聞き出そうとする祐一。だがその時、今度はあおいの悲鳴が……。

COMMENT

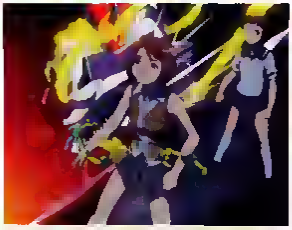
小原 アリッサと深優の繋がりの深さを印象づけたかった回です。公園で2人が舞衣たちに会うシーンは、短いですが、人間ではないが故の清廉さが出てくれれば…と思いました。

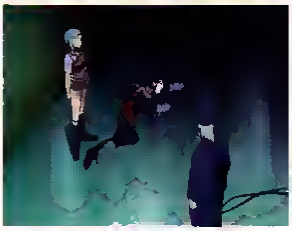
吉野 友人や学園のために舞衣はどんな行動を取るか…をテーマに書いた話です。あと、驚いたのは清音ちゃんの脱がされっぷり。たしかに私が書いたけど、まさかあそこまでやるとは。

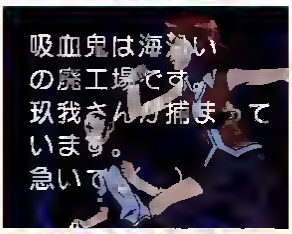
第12話 天使のほほえみ

2004.12.16 On Air

STAFF 脚本:吉野弘幸　演出:太田雅彦　絵コンテ:須永司　作画監督:坂本修司／永田正美







STORY

悲鳴を聞いた舞衣たちが駆けつけると、何者かに襲われた瀬能あおいと、エレメントを手に茫然と立ちつくす教会のシスター・真田紫子の姿があった。

シアーズ財団について探るなつきは、教会の地下施設に潜入するが、深優に倒され捕まってしまう。理事長の真白に協力を求められた菊川雪之は自らのチャイルド「ダイアナ」で、囚われのなつきを探し出し、舞衣たちにメールを送った。

駆けつけた舞衣たちは、吸血鬼オーファンを操るアリッサと、圧倒的な力を持つ戦闘アンドロイドの深優と戦うことになる。オーファンは倒したものの、アリッサたちは舞衣たちの前から姿を消す。一方、シアーズ財団はグリーア神父を解任し、アリッサに作戦を一任するのだった。

COMMENT

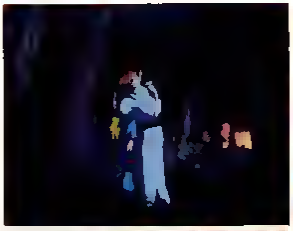
小原 戦闘シーンのロケーションは、学園近辺だと限られてしまうので、この回はビジュアル優先で廃工場にしてみました。月をバックに立つアリッサと深優のシーンがお気に入りです！

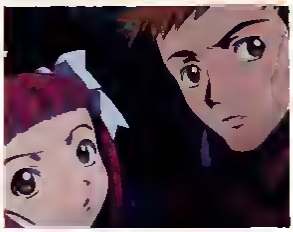
吉野 命が雪之と話していて、「そうか、私は舞衣が好きなのか！」というシーンがありますが、あれってこのあとのストーリー上、実はすごく重要な言葉なんですよね。

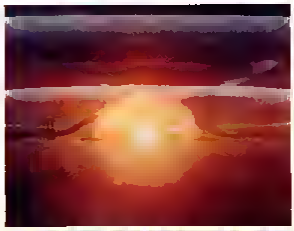
第13話 ～たまゆらの夜～

2004.12.23 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出：玉川達文　絵コンテ：水草一馬　作画監督：米山浩平







STORY

魂響祭り。それは、風華学園の女子生徒たちにとっては特別な日。はるか昔、戦姫たちが戦いに赴く前に愛する人の名を書いた鉢巻を木に結んだ…という故事に因み、祭りの日には、多くの女子生徒が愛する人の名をリボンに書き、学園の水晶宮の手すりに結ぶのであった。

そんな特別な日に、舞衣は、黎人からデートを申し込まれる。悩みながらもその申し出を受ける舞衣。一方詩帆も、祐一との関係を決定的なものにしようと意気込んでいた。そして祭りの夜――舞衣は、黎人に優しい言葉をかけられ、抱きしめられる。2人の唇がまさに重なろうとした時、祐一の叫び声がそれを押しとどめた。と、その直後、大爆発と共に橋が消滅。それはアリッサのチャイルドによる攻撃だった。

COMMENT

小原 前回は組織と組織の戦いを描いたので、この回は恋の戦いを描きました。最後にアルテミスの攻撃があって、いきなり物語の主旨が劇的に変わるっていうのも見所でしょうね。

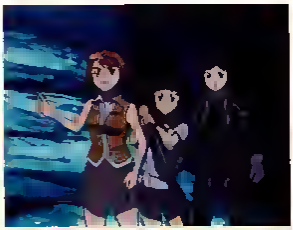
吉野 アルテミスの攻撃は14話の冒頭で…という意見もあったんですが、13話を書いている最中に突然ひらめいて、誰にも相談せず、私の独断でこの回のラストに入れました。

Episode 14

第14話 ねらわれる学園

2005.01.06 On Air

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出：菱川直樹　絵コンテ：須永司　作画監督：竹内浩志／川原智弘



STORY

アリッサのチャイルド「アルテミス」の攻撃とともに、シアーズ軍は行動を開始。風華学園は兵士たちによって制圧された。シアーズは、HiMEを突き止めるために女子生徒の血液及び身体検査を開始。アリッサは拘束された舞衣に、他のHiMEの引き渡しに協力するように迫る。

命の奇襲で脱出に成功した舞衣は、裏山でオーファンに襲われている祐一と詩帆を発見。命と共に2人を助けた舞衣は、祐一に自分がHiMEであることを告げ、全てを打ち明けた。舞衣と命は、生徒たちを救うため、再び学園に向かう。だが、そこに凪が現れ、地下の神殿「黒曜宮（こくようぐう）」へ行くように告げる。なつきと合流した舞衣たちがそこで見たのは、真白の元に集結した他のHiMEたちの姿だった。

COMMENT

小原 前回の流れを受けて、ストーリーが大きくうねる感じが欲しかったので、軍隊ネタを入れました。派手なお題の中で、キャラそれぞれの動きの楽しさを拾いたかったんです。

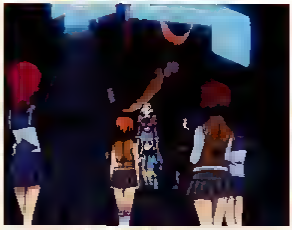
吉野 真白対アリッサの幼女対決が見所でしょうか。あと、女の子たちが取り調べを受けるシーンで、ト書きには「全裸にされる」って書いていたのに、なくなっていて悲しかったです。

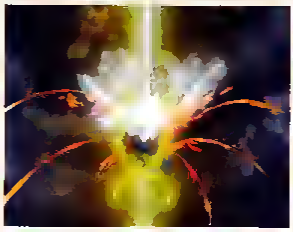
第15話

2005.01.13 On Air

天翔ける ミ☆女子高生

STAFF 脚本：吉野弘幸　演出／絵コンテ：小野学　作画監督：石野聡／大塚健





STORY

HIMEたちを黒曜宮に集結させた理事長の真白は、風華学園奪還作戦を発動。ただし、アルテミスが再び発射可能位置に到達する6時間以内に、決着をつけねばならない。舞衣はカグツチと、碧は愕天王と共に海上の艦隊と激突。一方なつき、奈緒、命の3人は地上部隊と戦闘を開始。壊滅状態に陥るシアーズ軍だったが、衛星はチャイルドとしての能力で、既に発射可能位置に到達していた。舞衣はカグツチでアルテミスの攻撃を止めようとし、直撃を受けてしまう。だが第2形態に進化したカグツチが炎の中から出現。宇宙へと上昇しアルテミスを葬り去る。

任務に失敗したアリッサはシアーズにより処分された。降り積もる雪の中、深優はアリッサの亡骸を抱いて湖底へと消えていくのだった……。

COMMENT

小原 話はシリアスなのですが、バラエティの究極みたいな位置づけです。前からやりたかったHIMEワンダバも含めて、「真面目な遊び」をてんこ盛りにしました。

吉野 前半のクライマックス。このあとはHiME同士の戦いが始まるので、みんなで力を合わせて何かに立ち向かう…というのを、とりあえずここで見せておきたかったんです。

舞-HiME 座談会

座談会参加者

- ●中原麻衣（鴨羽舞衣役）
- ●千葉紗子（玖我なつき役）
- ●清水愛（美袋命役）
- ●小原正和（監督）
- ●吉野弘幸（シリーズ構成・脚本）

主役の声優さん3人に、小原正和監督とシリーズ構成・脚本の吉野弘幸氏を加えたスペシャル座談会！　今だから話せる（?）ここだけの話を満載！

カメラマン：奥山栄一　ヘア＆メイク：藤原みさ／山本仁美

●自分が演じたキャラの印象

中原　景衣って最初は　弟の巧海を守る「強いお姉さん」っていう印象を持ってたんですけど　それがH－MEになってオーファンとも戦わなきゃいけないし　恋愛とか複雑なことにも巻き込まれていくし　もうどんどん変化していく感じでしたね。

吉野　景衣はストーリー上てすいぶんいじめちゃいましたからね（笑）。

中原　そうですよー　でも　いろんな事に巻き込まれていくうちに　すごく自分のことを気にかけてくれるなつきっていう友達ができて　。

千原　そんなことないよ。

中原　え？　ナニ　その否定は？

千原　なつきは景衣のこと　気にかけてなかったよ。だって一景衣いなタイプたったもん（笑）。

中原　まぁ最初はね　。でも後半にいくと　もう親友って呼んでいいほどの関係になるでしょ？　景初の「嫌い」って、景局「好き」の裏返したったんじゃない？

千原　うん　それはたぶんそうだろうね。なつきは　景衣が自分にないものをいっぱい持ってるのを知ってたんだと思うな。

中原　そんななつきや　自分を慕ってくれる命がいて　自分の弱いところを見せてもいいんじゃないかな　っていうように変わっていきましたよね？

吉野　と中原さんはおっしゃってますが、監督的には　その辺はいかがでしょう？

小原　うーん、えーっと　。

中原　あれ　景み違えてますか　私の解釈？

小原　いや　景としてはそこまでは考えてなかったかなと（笑）。

吉野　（笑）。でも　当たってますよ。無景して強がってる女の子が　いろんなことがある中でホンネを出していくというのが景衣の物語ですから。

小原　景は　景衣に景して言えば　作りながら固めていった部分があって　。景衣って結局「シングルマザー」たと思うんだけど　景自身景初はそのイメージにすごく抵抗があったんです。だから　演出面でいうと、1景から10景くらいまでの景衣って、かなり景れ幅があります。でも　作っていくうちに　「あ　これはもう景衣のそういう景分を認めざるを得ないな」と思うようになってやっと固まった感じでしたね。

吉野　舞衣は　無景景に自分で自分にバリアを張ってるような子ですからね。それを全景剥がしていかないとホンネが見えないし　景衣自身も気付かない。19話とかは、それを一気

本座談会は　2005年1月中旬に収録されました。この景点で「舞 HIME」のアフレコは景22話まで終了していました。

MAI NAKAHARA

中原麻衣

■プロフィール

福岡県出身　AB型　2月23日生まれ
〈代表作〉アニメ：『わがまま☆フェアリーミルモでポン！』（南楓役）、『おねがい☆ツインズ』（宮藤深衣奈役）、『光と水のダフネ』（水樹マイア役）、『巌窟王』（ペッポ役）／CD：『ロマンス』（マキシシングル）、『ホームワーク』（アルバム）

に全部剥がして舞衣を丸裸にする話なんです。

千葉　そういえば吉野さん　あのあたりのシナリオ　すごくスラスラ書けたってわっしゃってましたよね。

原野　はい。キャラクターをトコトンまで突き落とすの、大好きなので（笑）。

中原　Sなんだ……（笑）。

吉原　実はちょうど1回目のアフレコのときに　19話あたりのシナリオを書いてたんですよね。

清水　あー　だからいつもニコニコしてたんだー

千葉　そうたよね。「みんな　今のうちに仲良くしておきなさい」なんて言ってたし

中原　でも　舞衣はどんどん変わっていったけど　演じていて自分で「変えなきゃ」と感じたことはあまりないんです。シナリオがしっかり書かれてたから、1話1話真剣に演じていたら、自然に変わってた……って感じ。全体を通して、すごく伏線が生きてるって気がしました。

吉原　実はそんなに伏線を張ったつもりはなかったんですが、気付いたら伏線になってたというか。ほとんど1人で書かせてもらったので　それが上手くやれました。

千葉　ずっと同じ方がシナリオを書かれるっていうのは　役者としては本当に助かります。

清水　うん　演じてる側としては　すごい幸せー

中原　そうだよね。途中でいきなりキャラの口調が変わったりもしないしね。ところで、なつきはどう？　最初の印象と変わっていった？

千葉　うーん　舞衣が成長したとすると、なつきは逆に崩れていったから（笑）。

中原　そうだね。ナニがそうさせたのかな？

原野　やっぱり4話のせいでしょうねぇ。

千葉　下着の回か。

吉原　なつきは最初、単純にカノコイイ女の子って考えたんですけど　それたとどうしても　舞衣や命と仲良くなりそうにないんで、一発突き崩して　弱みや　可愛いところを見せた方がいいだろうな　と。

千葉　でも　それが4話っていうのは　早すぎるんじゃないですか？　かっこよかったのって、たった3話しかない。あのかっこよさはどこに？

小原　「舞-HiME」のキャラって、全員「負」の方向に属性づけがされてるんですよね。なつきはそれが一番ストレートに表れてると思うんです。なんか、カノコいい人に対する吉野さんの最地悪みたいなのが感じられる気がして……。

吉原　いや　カノコいいの、好きですよ？　監督たって4話は結構ノリノリでやってたクセに。

千葉　ふーん、そうなんだ。

吉野　4話のシナリオって、一番改稿の回数が少なかったりしますし。ただ　あそこで崩しすぎた感もあって　あとでな

■プロフィール

東京都出身　A型　8月26日生まれ

〈代表作〉アニメ：『ピーチガール』（安達もも役）、『クロノクルセイド』（アズマリア役）、『イリヤの空、UFOの夏』（須藤晶穂役）、『撲殺天使ドクロちゃん』（ドクロちゃん役）／CD：『さよならソリティア』（マキシシングル）、『everything』（アルバム）

つきを持ち上げるのに苦労しましたが（笑）。

千葉　いや、もう元に戻らないですよ（笑）。

斎藤　そういえば、9話でなつきがヒノチハイクをするシーンがあるじゃないですか。あそこのアフレコをやってるときブースから千葉さんの「もういやぁー」っていうナマ声が聞こえてきて。「よしよし。ここは千葉さんが本気で嫌がってくれないと面白くないし。オレケー」って、1人でほくそ笑んでました。

千葉　ひっどーいー

吉葉　たた　なつきも舞衣とは別の次元で突っ張ってたわけで　シリーズ後半では　やっぱりなつきも突き落として（笑）

彼女のホンネを出させたつもりです。

千葉　命はどう？

斎水　嫌って　嫌初から謎だらけで　私たちにもその正体とかが知らされてないから　途中で本当にビックリすることが多くて　。命がジイを殺したっていうシナリオを読んだ時（第20話）なんか「えー」って驚いたし　ガレキに埋もれた時（第7話）は「うそー　私もう死んじゃったの？　次回から出演減し？」って思って　。そういう面ではとても刺激的というか　視聴者の斎さんと一緒に私も楽しみました。

小葉　一番最初の企画段階では、実は嫌が主役だったんですよね。しかも　もっと殺気立った　人の心が通じないキャラという設定で　。

吉葉　そう。そんな命の人間性の回復っていうのがテーマだったんですよ。その企画では　最初からH－ME同士が戦う嫌隠て　それを止めようとする最通の女の子　つまり最衣かあかねみたいなタイプの子が　1話目であっさり命に刺されたりしてました。

中嫌　あ　それは切ないなぁ　。

斎野　あとは、嫌について言えば　監斎が一嫌こだわった「んー」というセリフですね。

斎水　そう、あれはすっごい最しかったー　「うん」じゃなくて「んー」なんですよね。とにかく　嫌様のような感じで「萌えを入れるな」って言われて　。

小嫌　文字の時には気にしなかったけど　実際に声を当ててみると　やっぱり嫌しかったかな　と。

最水　H－MEっぽさがなかなか出なくて　。

小嫌　そういえば　各キャラごとに全員口斎みたいなものを作ろうとしたけど　あざとくなりすぎるんで減らしましたね。

斎嫌　舞衣の「はい～？」も　後半で物語がシリアス度を最すと、なかなか入れられなくなっちゃって　。あと　萌えモノお約束の　キャラの最尾特徴は　今回はやりませんでした。キャラを特最付けるには　一嫌嫌単な方法なんで　何度も誘惑には駆られたんですが（笑）。

清水　でも　それがないおかげか　女の子たちがあまり現実最れしてないって印象を受けました。

中原　演じていても、すごいやりやすかったしね。それに、たとえば○○ちゃんに「なんとかニャ～」みたいな口癖があったら、白無垢の姫の時も「殺してやるニャ～」って言って、一発でばれちゃうし（笑）。

千葉　しかも全然怖くない（笑）。

●演じているキャラと自分の共通点

千葉　麻衣ちゃんは、舞衣と同じでお姉さんタイプだよね？いろいろ人の世話したりするの好きだもん。

中原　たしかに甘えられるのも大好きなんだけど、私自身すっごく甘えたがりなので、舞衣みたいには振る舞えないかも……。でも、普通の女の子っていうところは一緒かな。なつきと紗ちゃんも似てるよね。

千葉　えー、ホント？

中原　うん、一見近寄りがたそうだけど、一歩踏み込んでみると、実はすっごいオトボケさんだったりとか……。

千葉　あはは……。まあ、なつきみたいに、自分から人を遠ざけたり、自分は一人でも平気だって思ったりすることはないけど、周りから人が近寄って来てくれることはあんまりないかも。やっぱり、話しかけにくいとか、怖そうとかよく言われるし……。

清水　髪の毛が黒くて長いと、なんか高嶺の花って感じで話

しかけにくいのがなぁ？

千葉　えー　たって最衣ちゃんもそうだよ。

中原　でも私なんか　一最声かけやすそうなタイプだよ。

千葉　なんでだろう？　ナニが違うの？

中最　愛ちゃんは？　命と似てるところある？

清水　うーん　美味しいものが好きなところかな。あと　最るのが好きなところとか。甘えん坊なところ？

吉最　いっぱい似てますね（笑）。　ところで監督　いきなりですが　目の前に妙齢の美女が3人います。監督が最初にナンパするならどなたですか？

清水　え――っ　監最　ナンパとかよくするんですか？

小原　いや　しないしない！

吉野　最最男に「訊け」って最いてあるので（笑）。

小原　考えたこともございません。

清水　そうなんですか？

小最　でも、「最HIME」のキャラ作りって、何が女性に対するナナメな視線も感じるんですけど……。

最最　そうですか？　僕はとにかく可愛い女の子が一杯最けて　すごく楽しかったんですが　この作品（笑）。

千葉　そういう吉野さんは、一最最初に声をかけるとすれば誰ですか？　いや、私たちじゃなく　「最HIME」のキャラで遠ふとすると？

最最　うーん　最たろう？　監督はどのキャラが一最お気に入りですか？

小原　最は全部お気に入りです。

最最　ズルいなぁ（笑）。

中原　模範解答ですね。

清水　でも嬉しい　。

中最　そうたね。これが「詩帆です」なんて最われたら、ちょっと黒っちゃうよね。

清水　でも、詩帆ちゃんってたしがに可愛いよね。

最最　詩帆はですね　最終的に貧乏クジを引いて　嫌われるかもなぁと思っていたので　最初のうちはなるべく可愛くしてあげようと思ったんです。

千葉　なるほど　そうたったんですか。

最最　でも「最HIME」のキャラの中から選ぶなら、やっぱりあかねとかがフツーっぽくていいのかな。

千葉　あかねちゃん可愛いですよね。すごい雌気て。絶対彼女にしたいタイプー　監督は本当にいないんですか？

小原　いや　実際に　それぞれのキャラを性格付けする過程て　誰が一番好きというのはなるへく考えないようにしてました。それに「最HIME」のキャラって、最の中では女の子だと見てない部分もあって　たとえばモチーフとして動物であるとか　神話上の人物であるとか　漫画のヒーローとか　あるいはスーパーロボットとか　。

中原　えーっ　スーパーロボットてすか!?

吉最　それが15最の　あの出最シーンに最実する（笑）。最初に監督からあのアイディアを聞かされたときには点最になりましたが　面白いからやっちゃえ　と（笑）。

小原　いや　キャラクターの芝居のヒントとして　そういうダジャレ感覚もあったんです。ドラマの部分では、アニメ業界の生真い人間関係みたいなものもさり気に観察しつつ…あくまで参考ですけど。

吉野　生徒会とかには、ある意味反映されてるかも。どこの現場でもあるとは思うんですが。…そう言えば企画の初期に言われたことがあったなぁ「萌え物にしては、女の子たちがみんなナマっぽすぎない？」って（笑）。

●好みの男性キャラ

小原　『蒼HIME』で「萌え」の重要を感じさせるのって、むしろ男キャラてすよね？　橋とか撃人とか。

中原　あー　そんな感しー

吉野　そう　実は男性キャラの方が　ヒロインっぽい立ち位置にいるんですよね。

清水　たしかに、巧海くんなんかもろにヒロインだー

中原　私、アフレコしてても、撃人さんにキュンキュンきちゃってー

千葉　麻衣ちゃん　撃人さん好きだよね。

中原　たって　絵の気合いの入り方とか　他のキャラと違ってない？監原　そんなことないですか？

小原　多少はあるかもしれない　＊いや、単純な悪役にはしたくなくて　ときどきこう寂しげな流し目を意識して入れてみたり…っていうのはあったから。

中原　そうー　それそれー　それがいいんですよー

千葉　私は祐一がいいかな。

中原　あ　私はダメ＊ハッキリしないもんー

千葉　いや　ハッキリはしてないけど　なんとかしようと頑張ってる姿は　応援したくなるんだよね。今そこを乗り越えたら絶対いい男になるよ　みたいな気持ち。

中原　たしかに　舞衣が祐一を好きになる気持ちはよくわかるんたけとね。祐一も言いものを抱えていて　それに共感するっていう部分では…。

小原　ノニカルな言い方をしちゃうと　舞衣って　それまでの生い立ちから考えて、あまり高望みしないタイプだと思うんてすよね。

千葉　あ、それで撃人さんに言い寄られた時、すごいあわててたんだ。

小原　そう。自分の身の丈以上のものに、反射的に警戒感持っちゃうところがあって…。

千葉　自分が弱みを見せられる男性って　あんまりいないじゃない？　でも　第5話て舞衣は見せてるよね。「頑張れって嫌いなんだ」みたいな祐一のセリフで舞衣が泣くシーンで…。

吉野　そう　あのシーンがあるので　以後は他のキャラも含めて「頑張れ」ってセリフの使い方にかなり気を遣いました。手クセで言いちゃうことがよくあるんで。

中原　でも　17話で舞衣が祐一に言うんですよね？　私　第5話のあのシーンがあったから　ここはたたの「頑張れ」じゃなくて　もっと感情を込めた「頑張れ」しゃないとダメだ

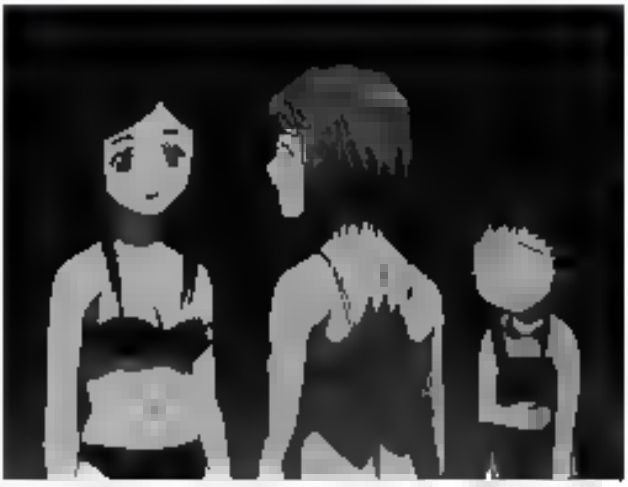
なって演じたんです。ところで　愛ちゃんの好みのタイプは？

長水　可愛いのは最くんがな。うーん、でも追水先生もいいかも。

一同　え――っ。

清水　たって　一途で優しそうじゃない？

●声優さんに恵まれた作品



吉野　でも「愛H－ME」は声優さんに恵まれた作品でしたねぇ。　いや　皆さんへのお世辞じゃなく（笑）。

小原　キャスティングの段階では　どちらかというと微妙にミスマッチを期待したところがあったんですよね。その方が耳に残ると思ったので。声にあわせて　キャラの性格を微調整したりもしました。たとえば金は最初　あそこまで重衣にベタリ甘えるキャラじゃなかったんです。でも、清水さんのオーディションテープの声を聞いて　そういうのもありかな　って。

清水　そうなんだ～。

長銀　アニメ本編の前にラジオ番組（注「愛H－MEラジオ」）が始まりましたよね？　あれが始まった時点で　シナリオは全体の半分くらい書き進んでいたんですが　その後主役の3人は　シナリオ執筆時もみなさんの声を想定して書かせてもらいました。

千葉　あ　それはすごく嬉しいかも。

長羽　まぁ　この作品は　とにかくキャラも声優さんの数も多かったので、大変な部分もありましたけど。

小原　そうなんですよ。せっかくアフレコに来てもらったのに　セリフが1つしかない…　なんてのがあると　悪いなぁって思って…。

吉野　シナリオでは　最低でも2つ3つ入れるようにしてたんですが　コンテで削られたりすることもあるし。でも　これだけ人気声優さんが揃っていて　ほぼ別録りなしでいけたのは　ある意味　最強ですね（笑）。

千葉　たしかに、別録りはほとんどないですね。

清水　別録りだと　やっぱり流れに付いていくのが難しいんですよね。今回は　みんな一緒に大勢でアフレコできたので、すごく現場感がありました！

中原　本当に学校みたいで楽しかったしね。

吉野　というわけで、みなさん今日は本当にありがとうございました！

中原・千葉・清水　こちらこそありがとうございました！

●インタビュー

キャラクターデザイン
アニメーション
ディレクター

久行宏和

Hirokazu Hisayuki

〈プロフィール〉 山口県生まれ。代表作は、「GEAR戦士電童」（キャラデザイン・総作画監督）、「新世紀GPXサイバーフォーミュラSAGA」（キャラデザイン・作画監督）など多数。

――今回久行さんは、キャラクターデザインの他にアニメーションディレクターもやられてますが、それはどのようなお仕事になるんでしょう？

久行 何でも屋です。名前のつけようがないからそう言ってるだけで、普通だと、総作画監督＋αというか、画面のトータルコーディネートって考えてもらえばいいんですが今回は、話作りとキャラ作りがほぼ同時に進行していたんで話作りの方にもある程度関わってます。HIMEバトルで「想い人」が死ぬ というのは、最分のアイデアだったんですよ。

――そこは「最HIME」の設定の一番のキーポイントですよね。

久行 女の子たちを主人公にしてバトルするわけだがら 男の関いとは差別化したくて それであいうアイデアを出させてもらいました。

――キャラ作りは、最初どのような形で依最があったんですか？

久行 プロデューサーの吉峯さんから 女の子がたくさん出る作品をやりたいのでとりあえず何人か最いてみてくれというお話があって 5人くらいパノと描いたと思います。今のメインの3人（最衣 なつき 最）と 最と千絵の原型になる子。そこからたんたん増えていって 最終的には20人を越しちゃったけど

――キャラ作りは、理詰めでやられる方ですか？ それとも感覚重視ですか？

久行 いや この人数になると 両方必要ですね。ひらめきだけで描けるのって、やっぱり4、5人が限度だと思うんです。あとは、小原監最や原本の吉野さんとキャッチボールしながら 理詰めで作っていったと思います。ただ 主人公に近いところの子ほど 最衣の配分は大切にしました。

――特に苦労されたキャラはたれですか？

久行 （即座に）最衣ー 最衣は 一番最初に最いた中にいるんだけど 主人公に見えにくいって意見も出て 一回ボツになったりしてるんですよね。ただ 人数があれたけ増えて

いくと　逆に「真ん中にいるのはこの子しかないだろう？」って　自分が強引に押しました。

――たしか、企画初期の頃は命が主人公だったということも伺いましたが……。

久行　ありましたね。大反対してましたけど（笑）。舞を主人公にしたら　たぶん普通の「萌えアニメ」になったと思いますよ。そのかわり　この人数のキャラは立たなかったでしょうね。

――舞衣がいるからこそ、他のキャラも生きたってことですか？

久行　結舞この作品って、他のキャラは全員ボケで、舞衣だけがツッコミなんですよ。舞が主人公だったら　1人でボケ倒すだけだから、ツッコミになんてならないじゃないですか？　ま　自分たちにもう少しスキルがあれば　命を主人公にすることもできたのかもしれないけど　……。

――舞衣のデザインで苦労されたのはどこですか？

久行　舞衣って　普通に萌いていると　本当に普通の子になってしまうので　どう特徴づけるかというのが一番の悩みでした。で　結舞アホ毛を逆さに付けたようなああいう髪型になって　……おかげでみんなには　とっても描きにくいと不評です（笑）。

――それと、舞衣といえば自立つのは舞なんですが、これもたしが初期のシナリオでは、そんなに巨乳じゃながったんですよね？

久行　いや　僕の中では当初から巨乳でした（笑）。基本はお姉さんキャラなので　記号としても絶対入れておいた方がいいだろうと思って。それに　舞衣を巨乳にした方が、なつきをいじりやすいんですよ。なつきは　キャラを作った舞からあのポジションが予想されてましたからね。あと　舞衣が胸ならなつきは乳ー　っていうのは意識してました。

――なるほど……。

久行　たから　舞衣は、まず舞が萌ってそこからカメラが順に移動する　っていうパターンが多いけと、なつきはまず尻から映るんです。特に序盤は　意図してそういうのをやってました。

――他に、作りやすかったキャラ、作りにくかったキャラはありますか？

久行　他作品で描いた脇キャラの流用という意味では、遥が

来でした（笑）。

――他作品と言いますと？

久行　「サ○バーフォー×ユラ」のゲームに登場するキャラをベースにしてるんですよね。最初は　吉野さんの最初の設定では、もっと最近風なお姉さんキャラだったけど　舞之との関係を組み立てていく上で、いい方向に変わっていったというか。ある意味予想外の展開を見せたキャラでしたね。舞之のイメージはモロに「赤毛のアン」なんです。それで、チャイルドの名前も「ダイアナ」なんです（注　『赤毛のアン』には、ダイアナという名前の友人が登場する）

――あ、そうだったんですか。

久行　逆に、手こずったのは晶ですね。同じ男装の女キャラでも　もう少し上の年齢ならやりようがあるんですよね。でも晶って、中学1年生じゃないですか？　ちょっと前までランドセル背負っていて、男女の区別もあんまりないような年齢だったので、どういう絵を持ってくればいいのか悩みました。だから晶は、けっこう遅くに決定稿が出ましたね。あと、決定が遅かったといえば、詩帆もそうですね。

――詩帆は髪型が印象的ですが……。

久行　舞衣が、巧海のこととかで重い設定になったので、コメディーリリーフはコイツだー　と思ってやったんですけど、いまいち美えなかったですよね？（笑）

――久行さんが個人的に好みのキャラというと、舞になるんですか？

久行　舞衣以外でってことなら、晶とか晶子ですね。いや、実はこの2人は、別のポン企画の主人公だったりするんですよ（笑）。『舞Ｈ－ＭＥ』でいうと、ちょうど舞衣となつきの関係みたいな感じで　。だから　好きというか　思い入れがあって。

――最初の設定が、実際にアニメになってから変化したキャラというのはいますか？

久行　奈美は　あそこまで悪くなるとは思いませんでした（笑）。たしかに　舞衣に対してはっきりアンチな立場にいるキャラなんですが　「犯罪者」になっちゃうとは　。ただ　奈美が舞衣に反発するのも　詩帆が舞衣を慕むのも、結局は舞衣のポジションになりたいからなんですよね。あと　イメージが変わったキャラといえばアリッサかな。推いてる途中はそれほどでもなかったけど、アニメで動いてるのを見たら好きになりましたね。

――久行さんは今回、舞と詩の絵コンテもご自分で担当され

てますよね？

久行　決して時間的な余裕があったわけじゃないけど。無理を言ってやらせてもらいました。というのは、学園物としての実質的なスタートは第2話で　キャラクター紹介舞的なお話じゃないですか？　あの時点で、一番キャラクターを把握していたのは自分たと思ってましたから。

――あとは、チャイルドの出現シーンなども。久行さんがコンテを切られてますよね？

久行　チャイルドって　ロボットでもなくて　存在自体がすごい漠然としてますよね。たから、まずそのあたりのイメージ付けを自分でやっておきたいというのがありました。それと、たとえば各話ごとの演出家さんにまかせると、別のチャイルドなのに似たような出現シーンになったりする場合もあるじゃないですか？　それを防ぐためにも、無理して1人でバリエーションを考えるようにしました。

――差別化するのは大変だったんじゃないですか？

久行　いや　ロボットアニメの人間なんで　それくらいの引き出しは持ってます。それに　全部1人でやったわけじゃなく、小原監督もいくつか振いてくれてますから。

――チャイルドやエレメントのアイデアなどは、久行さんの方からも出されたんですか？

久行　チャイルトは　ゲンナイくらいがな。でも、大ラフを描いた程度ですね。あと、エレメントの振り分け　つまり舞にとんな武器を持たせるかというのは　みんなで話し合って決めました。ただ　舞衣のエレメントは自分のオリジナルかな。

――あのリングは、主人公の武器としてはかなり珍しいという印象を受けたんですが……。

久行　リング自体に能力があるんじゃなく　あれは身体能力を強化するパワーブースターたという考え方なんです。でいろいろと考えて　腕や足の回りでクルクル回転するというイメージにしました。

――でも、こうして伺ってみると、たしかにいろんな役舞を果たされてますね。ところで、現時点でまだ制作中なのにこういうことをお聞きしていいかどうかわからないんですが、今回「舞HIME」をやられて満足した部分、逆にやり残した部分というのはおありですか？

久行　満足はともかく　やり残したと感じる部分は　シリーズ作品をやっていると絶対ありますよね。それに対して「悔しい」とかって思うんじゃなく「ああ、今回はこれくらい残ったが……」って感じです。ただ『舞HIME』は比較的少ないんじゃないかな。まぁ　欲をいえばあとークール欲しいな　という気持ちはちょっとありますが。

――そうすれば、もっとやりたいことがやれたと？

久行　キャラクターのいろんな部分が描けたんじゃないかと思います。結局　これだけの人数を26話に振り分けて舞き切るのって　大変じゃないですか？　だから　キャラクターを作る側としては　話数がもう少しあった方が　とも思いますが　それで面白くなったかどうかは分からないですね（笑）。26話がちょうとよかったのかもしれません。

●インタビュー

クリエイティブプロデューサー

谷口悟朗

Goro Taniguchi

〈プロフィール〉愛知県生まれ。『機動武闘伝Gガンダム』『勇者王ガオガイガー』などの演出を経て監督に。主な監督作品は、『時限のリヴァイアス』『スクライド』『プラネテス』『ガンソード』など。

――今回、『時H－ME』に関わられたのはどのような経緯からでしょう？

谷口　サンライズのプロデューサーの古里さんと、バンダイビジュアルの高崎さんから「今度こういう企画をやるんだけど協力してくれないか」という依頼をいただいたんです。そのとき私は『プラネテス』という作品の監督をやっていたので「監督は時間ですが、それ以外の協力なら……」とお答えしました。すると古里さんが「監督は新人の小林さんを起用したい」とおっしゃって、じゃあその相談役というかサポートする立場なら……ということで話がまとまりました。要するに、プロデュース側と現場の中間にいる通訳みたいなものでしょうか。小原監督からすれば、うざったいのがいるな～って感じたったんでしょうけど（笑）。

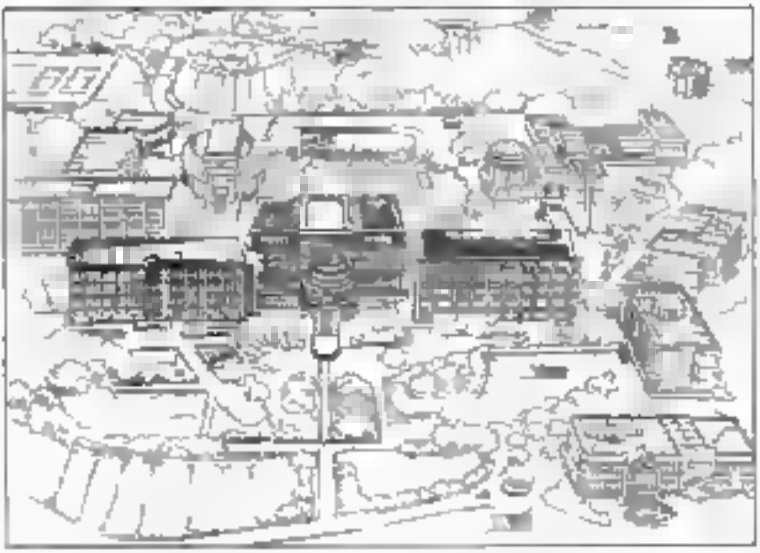
――なるほど。そういう立場だから「クリエイティブ・プロデューサー」という肩書きなんですね？

谷口　いや、私は肩書きなんかどうでもいい。極端にいえばなくてもいいってサンライズに言ってたんです。それが、誰かの時間にかあんな肩書きがついて（笑）。たいていた私は、クリエイターという肩書が嫌いなんですよ。なんか、自分だけ高みにのぼって見下している感じがして……。それに、どこまでが「クリエイティブ」なのかって、よく分からないじゃないですか？　私は、作品は受け取ったお客さんが心の中で咀嚼して初めて完結すると思ってますから、そういう意味ではお客さんだってクリエイターなんです。サンカーたって、サポーターが盛り上げて初めて時白い試合になるようにね。とにかく、私自身は常に「私にはせいぜいこれぐらいの芸しかありませんが、楽しんでいただけたのなら本戸時をいただけませんか？」っていう程度の意識しか持っていません。また、それが本当のファンサービスだと思ってます。

――なるほど……。

谷口　だから、今回の『時H－ME』も、お客さんに楽しんでもらうにはまず何が大切なのか、というのを再勉強するつもりで臨わりました。たとえばラジオ番時があったり、イ

ヘノトがあったり、「週刊少年チャンピオン」の漫画があったり　というファンサービス的なことも含めて　こういう「美少女物」に関わることで　お客さんを楽しませる視点に帰ろうと思ったんです。これは　予想以上に面白い仕事でした。



――ご自身が監督をされた作品とは、当然関わり方も違ってくると思いますが――。

谷口　ええ、今回あがってくる絵本やラフノュに対する決定権を持っているのはあくまで小原監督であって、私てはないと思ってました。ただ　監督が決定をくだす上で　選択肢を提示するようなことはしました。たとえば、シナリオの打ち合わせなどにもてきるたけ参加させていただいたんですが　そういうとき　「監督がやりたいことはなんでしょう？　吉野さんがやりたいことは？　久行さんは？　なら　現状においてはこういうやり方とこういうやり方がありますが　どれがいいですか？」みたいな感しですね。あと　逆に、自分が監督だったら絶対やらない手法っていうのもやりましたけど。

――それはどういう？

谷口　企業秘密です（笑）。まあ　立場がいつもと違うのでプロテューサー的発想ができたということでしょうか。そういう意味では、言やっていた「制作設定」という仕事を　さらに幅広いレンジでやれたという面白さがありました。

――そういうお立場で関わられて、谷口さんとしては関るものがおありでしたか？

谷口　作品の成功という面に関していえば　私自身が果たした功績はあまり考えていません。もし「劇HIME」がお客さんに良い評価を得ているのであれば　それはあくまで　古里プロデューサーや　小原監督をはじめとする現場スタノフの功績だと思います。ただ　個人的には得るものは大きかったですね。私は基本的に、自分で監督して製作総指揮もやるという　スピルバーグ的なやり方をしたいんです。ト新人だった頃　それを言って大笑いされたこともあるんですが（笑）、結局最後はそこを目指したいんですね。そのためには今回のようなスタンスで作品に関わるというのは　いずれはやらなきゃいけなかったことですし　そのチャンスを与えていただいた各スタッフの皆様には、深く感謝しています。

●インタビュー

音楽 梶浦由記

Yuki Kajiura

プロフィール Seed-SEWのメンバーとして活動後、作詞・作曲・編曲を手がけるマルチ音楽コンポーザーとして多ジャンルで活躍。代表作は「NOIR」（アニメ サントラ）「FICTION」（ソロアルバム）など多数。

――最初、「蒼穹のHIME」の話が来た時はどのような感想を持たれましたか？

梶浦 うちの事務所の者から「萌えアニメたけどやる？」って聞かれて 単純に「え なんで私に!?」と聞きました（笑）。だって、私は萌えアニメと言われる作品を創り上げるための音楽をまったく把握していないというか そういうものは作れないと思っていましたから。ただ、「萌えアニメなんだけど それだけではないから」というお話を聞かされて だったらチャレンジしてみようかなと思いました。

――その後、作品の資料などをご覧になったんですか？

梶浦 ええ。でも それだけでは足りないからとプロデューサーの古里さんがおっしゃって ちょっとお茶でも飲みながら軽く打ち合わせをしましょうってことになったんです。で出かけていって 作品のお話を延々5時間も伺いました（笑）。いや、とても楽しかったです。

――その段階で、作品のイメージをだいたい把握されたわけですか？

梶浦 そうですね。私 打ち合わせの時中に話を作ることが多いんです。作品をご存じの方って一番熱意もあるし そういう方のお話を聞いている時 けっこう浮かぶんですよね。

今回の「銀星」という曲も、打ち合わせ中にできました。でも、曲調慣れているスタッフだと、目の前で紙に音符を書いてしまうんですが、さすがに今回のスタッフとは初対面だったので恥ずかしくて、「ちょっと失礼します」とか言って、洗面所でガーッと書いてました（笑）。

――最初、銀えアニメで困惑されたということですが、内容などを聞かれて不安は消えたのでしょうか？

鎗鋼　ええ、曲は、両極ある作品なんだなと理解しました。言ってみれば、曲と銀みたいな感じで、て、夜の雰囲気な感じ。私に求められているものも分かると思いましたし、また、曲を感じさせる形で星の部分も作っていけるんじゃないかな？　と思えたんです。

――星と銀ですか？

鎗鋼　はい。「最初にこの曲から星銀させてください」と言われたのが、思いっきり銀パート。つまりバトルの星たったんです。それで、「やはり夜の部分も重視されているんだな」というのが分かりました。あと、曲の部分は、ヨーロッパの劇場会場のイメージたというお話も伺いました。

――ご自分で一番印銀に残られている曲といいますと？

鎗鋼　やはり舞衣のメロディですね。いや、舞衣というより本当は星銀のメロディなんですけれどね。・タイトルで言うと「目覚め」になります。あとは、「銀の舞銀」。これは、打ち合わせの時に「人の声のループみたいのがあると銀白いですよね」というご意見をいただいて作った曲なんです。人の声の素材をいろいろ探したり、作ったり、作るのがとても楽しかった曲なので、印象深いんです。

――では、一番苦労された曲というのは？

鎗鋼　あんまり無いですねえ。あ、ただカグッチのテーマは、最初に作った曲が女性的たったんです。そうしたら、「カグノチは男性です」と言われて、その後修正したりしました。

――音楽を聞かせていただいて、全体に和のテイストが感じられましたが、鎗鋼さんのお考えですか？

鎗鋼　ええ、今回はそういうテイストを入れてもいいってことたったので、・タイトルに「舞」という言葉が入っているから、バトルも「舞」のイメージかなと思いました。

――シリーズの後半の追加曲で、印象に残っている作品はありますか？

鎗鋼　ものすごく個人的な理由なんですが、わりと近い知り合いが、とある声銀さんの大ファンなんですよ。その声優さんというのが、今回の黒幕的な存在、つまり黎人さん役をやっていて、・後半追加で銀のテーマも作ることになったので、銀女に「あなたの好きな声銀さんが演じているキャラのテーマを作ることになったんだ」と言ったら、狂喜乱舞されて、まるで神のようにあがめられてしまいました（笑）。すいません、こんなネタで。

――いえ、面白かったです（笑）。

鎗鋼　そういうのもあって、黒銀のテーマは結構力が入っちゃってます。期待に応えないと、星女に舞を言われるか分かったものじゃないというプレッシャーがありましたから（笑）。